

交通安全全国キャラバン隊がやってきた



交通安全の意識を高めようと交通ボランティアを中心とした「全国キャラバン隊」が8月26日(火)、大山町役場を訪問しました。

このキャラバンは、全国を7つのコースに分け、各コースに広報車を配して都道府県をリレーして交通安全に関する各種啓発活動を行うものです。

会場となった大山町役場では、鳥取県交通安全母の会会長

の佐々木周子^{かほ}さんをはじめとするキャラバン隊を総勢40人で出迎えました。

式の最初に、全国キャラバン隊に託された国の交通対策本部長である野田聖子内閣府特命担当大臣のメッセージが伝達されました。

続いて大山町からは、町長直筆の「思いやり あふれる町に 事故はなし」と書かれた交通安全色紙が贈られました。

そして、歓迎と激励の気持ちをこめて御来屋保育所のひばり組(年長児・11人)による「交通安全の歌」が披露されました。かわいい歌声に会場が和やかな雰囲気になりました。出席者はこの子どもたちが事故に遭わないように交通安全の啓発活動にさらに力を入れようと決心しました。



ふるさと大山の話題で盛り上がりました

大山町の応援団 親交を深める

大山町出身で町外にお住まいの方に会員になっていただき、大山町を応援していただく「だいせんファンクラブ」会員相互の親交を深めようと9月6日(土)、大阪で交流会を開きました。

当日は会員など約60人が集まり懐かしいふるさとの話題で大盛り上がり。また、大山町にゆかりのある歌手、桂木龍さんがふるさと大山を想って作詞をした「大山」を熱唱され拍手喝采を浴びました。

大山町をさらに全国へ発信するため会員を募集しています。詳しくは企画情報課(0859・54・5202)へお問い合わせください。



おひとつどうぞ

大山の恵み発信！ 大阪で大山恵みの里フェア

大阪府豊中市千里中央のショッピングモールせんちゅうパルで9月7日(日)、『大山恵みの里フェア』を開きました。

今年から「大山の梨」に名前が統一された今が旬の二十世紀梨、農産物加工品、海産物加工品などを販売しました。また、「大山」を「だいせん」と読んでもらうとおそろいのTシャツを着て観光宣伝を行ってきました。

お客さんからは「大山は自然が良いよね」、「毎年大山に登ってるよ」などの声が聞かれ、関西でも「大山」に対するイメージが良いことが分かりました。